

公金を横領した。それも財源難に苦しんでいる介護保険、命のお金である。私は今回のコムスの不正を知ってあせんとし、組織の生き残りの手口を聞いて憤然とし、ほとんど逆上した。子供の教育をどうするか、大変だ大変だと議論をしているようだが、まず最初にすべきことは、こういった大人を決して許さない社会にすることである。

コムスとは、コミュニケーション・メディカル・システム・ネットワークの略で、もともとは榎本憲一さん(二〇〇三年、七十四歳で逝去)が、設立した会社である。榎本さんは、その一生を介

長寿の国を診る

許せぬコムスの不正

護の質の確立に努力してこられた方だ。亡くなられる一カ月前に「(略)いまだ(介護保険の)保険給付は額において不十分であり、質においても十分なものではありません。しかし、介護保険の充実により、質量ともに拡大して

引用)を残されたが、金第一の人たちには、こんな言葉を聞く耳などなかった。高齢者が増え、要介護状態のお年寄りが増え続けている。介護施設など、介護の現場で働く人たち、特に若い人たちの姿を見ると、私は自分

年寄りの大小便の世話をする。ことほどいやかなことはない」。二十代の若い女性たちである。たとえ看護職であってもそう感じて当然だろうと納得したが、「私たちがいやだけど、世話をされる患者さんの方がもっといやだと思

がどれほどのことか、余分な説明を要しない。しかも、介護の仕事に対する報酬は驚くほど低いのが現実である。そんな仕事に従事している人たちの誇りをスタスタにしたのである。もつけた金で自家用のジェット機を乗り回すのは勝手である。だが、お年寄りを食い物にし、若者を裏切り、日本という国の品性を汚し、どん底に落とした、その金がジェット機の一部にあてられているとなれば話は別だ。

いことが可能であると思えます。(略)私は介護という仕事人がを支え励まし、誇りある人生の結実に役立つことを信じております。という

でも恥ずかしくなるほど感動する。二十年も前のことだろうか、医療の最前線で汗を流していたころである。私も若か

う」と聞いた時に、この子たちは人のお世話をする。ことなどなごとなごのか、本当に分かっていると思ったのである。

後始末をどうするのか、職員のこと、利用者のご心が心配とはよく言った。そんなことを言える資格がどこにあるのか、噴飯ものである。許してはいけないことだと思

「借別の言葉」(大熊由紀子氏、えにしメール、私信から

見たことだ。「看護の仕事を何がいかかといってお

介護は素晴らしい仕事だ。人のお世話をする。ことほどあれほど崇高なことであろう。美辞が並ぶが、いくら言葉で飾

してはいけないことだと思



国立長寿医療センター総長

大島 伸一